

萩尾 佳介 (51)

はぎお けいすけ

【専門分野】

股関節・膝関節・人工関節・コンピュータ支援外科
低侵襲手術

【学歴】

1995年3月 大阪大学医学部 卒業
1999年4月 大阪大学大学院 入学
2003年3月 大阪大学大学院 卒業



【職歴】

1995年4月 大阪大学医学部附属病院
1996年1月 姫路赤十字病院
1997年1月 市立吹田市民病院
1998年1月 千里救命救急センター
1998年7月 大阪鉄道病院
2002年12月 NTT西日本大阪病院
2003年7月 大阪労災病院
2008年7月 大阪南医療センター
2020年4月 関西労災病院

【海外留学】

2016年11月 アメリカ合衆国(フェニックス)
St.Lukes病院
2019年4月 スペイン(バルセロナ)
Dexeus病院

【資格】

医学博士
日本整形外科学会 専門医
日本人工関節学会 認定医
緩和ケア研修会修了
がんリハビリ研修終了

【所属学会等】

日本整形外科学会
日本股関節学会
日本人工関節学会
リハビリテーション医学会
日本臨床バイオメカニクス学会

4月から河崎病院に赴任しました「萩尾佳介」と申します。

大学卒業後は大阪大学整形外科医局に入局し、約5年間一般整形の臨床経験を積んだ後、1999年から大学院で股関節・人工関節の研究を行いました。その後、大阪労災病院、大阪南医療センター、関西労災病院で約18年間、主に膝・股関節の人工関節手術を行ってきました。中でも大阪南医療センターでは約12年にわたり毎年年間200件以上の下肢人工関節手術に中心的指導をしてきました。

これまでコンピュータ支援を併用しながら正確で安全な手術を心がけ、「動作制限の少ない人工関節」、「合併症のない手術」、「長持ちする人工関節」を目指して治療を行ってきました。また、海外で研修した低侵襲手術に取り組み患者様の早期社会復帰を目指しています。当然のことですが、患者さんとの対話を大事にし、患者さんのニーズに応えられるような治療を提供するように心がけています。

河崎病院においても引き続き関節の痛みにお困りの患者さんのQOLを改善できるよう、尽力して参りたいと思います。新たな下肢関節チームの立ち上げとなりますので至らぬ点もあるかとは思いますが、地域の先生方の声には必ず耳を傾けて努力して参りますので、今後とも変わらずご指導賜れましたら幸甚です。